

令和4年度事業計画

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が、いまだ収束していない中であっても、徹底した感染症対策を講じたうえで、区民が継続して文化芸術に触れ、楽しむ機会を提供していくことが練馬区文化振興協会の使命です。この使命を達成するために、「何ができるか」の視点を大切に、柔軟に考え、行動していくことが必要です。

これを踏まえ（公財）練馬区文化振興協会は、以下の方針を基本的な考え方として令和4年度の事業計画を策定します。

- 1 令和2年度に策定した公益財団法人練馬区文化振興協会経営計画に基づき、各施設の魅力を最大限引き出せるよう、施設間連携を強化し、中期的な視点で事業の充実に取り組んでいきます。
- 2 練馬区は10～30年後の将来像である「グランドデザイン構想」（平成30年6月策定）への道筋を示す基本計画、具体的な実行計画であるアクションプランからなる「第2次みどりの風吹くまちビジョン」を、平成31年3月に策定しました。このうち、アクションプランについては、令和3年度末に改定予定です。協会は区の文化芸術施策の方向性を下支えするため、区と密接に連携し、事業展開をしていきます。
- 3 協会が常に発信している「質の高い文化芸術を区民の皆様に届けたい」という考えを、音楽、映像事業、美術および伝統文化など、各事業の中で具体化します。

公益目的事業

I 文化芸術活動の振興、促進（定款第4条第1項第1号、第2号および第5号）

地域における自主的な文化芸術活動を促進し、また文化芸術の裾野を広げるため、区内文化団体への活動支援を行うとともに、区民に向けて情報をひろく発信していく。

1 文化芸術活動の支援事業

- (1) 練馬区ジュニア・オーケストラ事業
- (2) 練馬交響楽団活動支援事業
- (3) 文化団体活動支援事業

2 文化芸術活動の普及および発信事業

- (1) 協会ホームページおよびSNS等による情報発信
- (2) 練馬区文化振興協会友の会事業

II 練馬区から受託する事業（定款第4条第1項第3号）

- ア 真夏の音楽会 vol. 5
- イ みどりの風 練馬薪能
- ウ 映像文化事業

Ⅲ 練馬文化センター、大泉学園ホールの事業（定款第4条第1項第4号および第2項）

練馬文化センターおよび大泉学園ホールでは、都心に行かずとも質の高い文化芸術を楽しむ、練馬ならではの地域性・独自性を有した文化発信拠点として、音楽および舞台公演を中心に、区民が文化芸術に触れる機会と区民の自主的な文化活動への支援、そして交流の場を提供する。また、多目的ホールならではの特性を生かし、演劇や寄席等の多岐にわたるジャンルも取り上げ、区民のニーズに応えるとともに、若年層や新規顧客の開拓にも取り組む。

令和4年10月以降の練馬文化センター大規模改修工事に伴う利用休止期間中は、区民が身近な場所で音楽を中心とした文化芸術に親しみ、参加できる事業を展開する。

公益目的事業

1 音楽事業

(1) 質の高いクラシックコンサート

ア 厳選！ヴィルトゥオーゾシリーズ（主催）

イ フレッシュ名曲コンサート（主催）

(2) 音楽を誰もが身近に楽しめる取組

ア アフタヌーン・ミニコンサート（主催）

イ 区内ホール等を拠点としたコンサート（主催）

2 伝統文化事業

(1) 子どもが能・狂言を体験する機会の提供

ア 小学校狂言師派遣事業

イ 小学校能楽師派遣事業

3 その他文化ホールとしての取組

ア ねりぶんジャズ（主催）

イ 万作・萬斎狂言の会（共催）

ウ クラシックコンサート（共催）

エ 一人芝居（主催）

オ 松竹歌舞伎夏季舞踊公演（主催）

カ 練馬区民寄席（主催）

キ 公共ホール邦楽活性化事業（主催）

4 区民の文化芸術活動・団体の支援

(1) 練馬区演奏家協会コンサート（主催）

(2) 練馬区演奏家協会事務局運営

(3) 演奏家等派遣事業

(4) 演奏家等あっせん事業

(5) 舞台芸術支援事業

5 広報業務

- (1) 情報誌「アンコール」の発行
- (2) ホームページ整備
- (3) SNS の活用

6 施設貸出事業

- (1) 練馬文化センター
 - ア 大ホール
 - イ 小ホール
 - ウ ギャラリー
 - エ リハーサル室
 - オ 集会室等

※ 大規模改修工事に伴い令和4年10月14日で利用を休止する。
再開時期は令和6年春頃を予定。
- (2) 大泉学園ホール
 - ア ホール
 - イ ギャラリー

7 練馬文化センター等の施設管理

- (1) 練馬区立練馬文化センター
 - [開設日]
昭和58(1983)年4月
 - [所在地および規模等]
所在地 練馬区練馬一丁目17番37号
敷地 6,812.65 m²
建物 地下1階 地上4階 13,110.74 m²
(練馬区備蓄倉庫併設 145.80 m²)
施設内容 大ホール、小ホール、楽屋、ギャラリー、リハーサル室、
集会室、保育室、事務室ほか
- (2) 練馬区立大泉学園ホール
 - [開館日]
平成14(2002)年2月
 - [所在地および規模等]
所在地 練馬区東大泉一丁目29番1号 ゆめりあ1 5～7階
延床面積 1994.49 m²
施設内容 ホール、主催者控室、楽屋、ギャラリー、展示準備室ほか

収益事業等

1 物品等販売事業

- (1) 自動販売機による飲料等の販売

IV 練馬区立美術館の事業（定款第4条第1項第4号）

練馬区立美術館（以下「美術館」という。）は、美術に関する区民の知識および教養の向上を図り、もって区民文化の発展に寄与することを目的に昭和60年(1985年)10月に開館した。

これまで日本の近現代美術を中心に、浮世絵や西洋絵画、現代アート等の新たな視点も加え、区立美術館ならではの特色ある展覧会を開催してきた。

令和4年度は、画家・舞台美術家として活躍した朝倉摂の全貌に迫る「生誕100年 朝倉摂」展（仮称）、19世紀フランスを代表する画家エドゥアール・マネの日本における受容を考察する「日本の中のマネ」展（仮称）などの3本の企画展を開催する。

また、これまで当館が収集してきた収蔵作品を活用し、「時代を映す絵画たち」展（仮称）と「茨木杉風と上條静光の東京」展（仮称）の2本のコレクション展を開催する。

展覧会だけでなく、ワークショップ、鑑賞プログラム、講演会など、自ら体験・学習する教育普及事業や託児サービス事業も引き続き実施する。

公益目的事業

1 展覧会事業

(1) 展覧会

- ア 「時代を映す絵画たち」展（仮称）
- イ 「生誕100年 朝倉摂」展（仮称）
- ウ 「日本の中のマネ」展（仮称）
- エ 「茨木杉風と上條静光の東京」展（仮称）
- オ 「企画展」

(2) その他の展覧会

美術家協会展、学校展、区民美術展等

(3) 展覧会関連サービス

託児サービス事業

2 教育普及事業

(1) 展覧会関連事業

- ア ワークショップ・講座
- イ 鑑賞プログラム
- ウ 展示解説（ギャラリートーク・アーティストトーク）
- エ 講演会・シンポジウム等
- オ ミュージアムコンサート等

(2) ネリビラボ

(3) 施設等紹介事業

- ア 館内探検
- イ 所蔵品紹介
- ウ おでかけ美術館

(4) 学校関連事業

- ア スクールプログラム（団体鑑賞、施設見学、職場体験、出張プログラム）

- イ ティーチャーズデイ
- ウ 団体鑑賞のためのバス派遣
- エ 学芸員実習等受入れ

3 地域連携事業

- ア 貫井図書館共催ワークショップ
- イ サポーター事業（資料整理活動等）
- ウ 近隣商店街との連携

4 資料収集・整理、保存事業

- (1) 資料の収集業務（一次的候補の抽出）
- (2) 資料の整理・保管
- (3) 収蔵・展示の環境整備
- (4) レファレンス対応
- (5) 資料等の調査・研究

5 広報業務

- (1) 練馬区立美術館ニュースの発行
- (2) ホームページ整備
- (3) SNS の活用

6 施設貸出事業

- (1) 創作室（通年）
- (2) 一般展示室（通年）、企画展示室（後期 23 日間）

7 美術館の施設管理

[開館日、施設の位置づけ]

昭和 60 年(1985 年)10 月に開館。当初は登録博物館であったが、平成 24 年（2012 年）に練馬区教育委員会から区長部局への所管換えが行われ、以降博物館相当施設となる。

[所在地および規模等]

所在地	練馬区貫井一丁目 36 番 16 号（練馬区立貫井図書館との併設）
建 物	鉄骨、鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造 地上 3 階地下 1 階 4,359 m ² （美術館部分 2,928 m ² ）
施設内容	常設展示室、企画展示室、一般展示室、創作室、収蔵庫、研究室、事務室 ほか

V 練馬区立石神井公園ふるさと文化館の事業（定款第4条第1項第4号および第2項）

練馬区立石神井公園ふるさと文化館（以下「ふるさと文化館」という。）は、練馬区で育まれてきた文化の継承および発展をはかり、新たな地域文化の創造および観光振興に寄与することを目的とした博物館（博物館類似施設）として、平成22（2010）年3月に開館した。隣接する区立池淵史跡公園内に移築復元した茅葺き屋根の古民家「旧内田家住宅」（練馬区指定有形文化財）とともに、4年間区が運営を行ってきたが、平成26（2014）年4月から、新たに練馬区立石神井松の風文化公園管理棟に開設した分室（練馬の文化人関連事業を展開）とあわせて、当協会が指定管理者として運営を行っている。

公益目的事業

1 展示事業

（1）常設展示

- ア 江戸・東京近郊の暮らし
- イ 練馬区指定・登録文化財の紹介
- ウ わがまち練馬情報コーナー
- エ 新収蔵資料の展示
- オ 練馬区ゆかりの文化人の紹介
- カ 檀一雄書齋再現コーナー
- キ 五味康祐オーディオ資料展示
- ク 特集展示「練馬区ゆかりの文化人」（仮称）
- ケ 展示解説会

（2）旧内田家住宅保存展示

季節展示（五月人形、七夕飾り等）

（3）展覧会

- ア 特別展
 - ① 大根展～練馬大根の今昔～（仮称）
- イ 企画展
 - ① 昭和初期の練馬ライフ
 - ② 石神井公園誕生（仮称）
 - ③ 練馬区の校歌（仮称）

（4）展示関連事業

- ア 展覧会ごとに展示解説会、イベント等
- イ 協会運営施設との連携事業

（5）その他展示

- ア 東京文化財ウィーク
- イ ねりま手工芸公募展（実行委員会形式）
- ウ ホタル生態展示
- エ ギャラリー展示

2 教育普及事業

- (1) 講座事業
 - ア ふるさと文化講座
- (2) 体験型事業
 - ア 季節体験事業
 - イ 夏休み事業
 - ウ 区内散策事業
- (3) 音楽・オーディオ関連事業
 - ア 五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート
 - イ 五味康祐の資料を用いた試聴会
 - ウ 収蔵資料を活用したコンサート
(蓄音器や石神井西尋常小学校のリードオルガン)
 - エ 区内大学との連携コンサート
 - オ 演奏家によるミニコンサート
- (4) サポーター協働事業
 - ア サポーター活動
 - イ サポーター企画事業
 - ウ サポーターコラムの執筆（ふるさと文化館ニュース掲載）
 - エ 古民家大掃除
 - オ サポーター学習会
 - カ サポーター交流会
- (5) 学校関連事業
 - ア 団体見学等の受け入れ
 - イ 職場体験
 - ウ 博物館実習
 - エ インターンシップ等受け入れ
 - オ 講師派遣による地域文化の伝承
- (6) 地域団体との連携事業
 - ア 講師派遣による協力
 - イ 地域文化・芸術団体との連携（作品等の常設展示室月替展示等）
 - ウ 地域の小・中学校の文化・芸術活動との連携
 - エ 区立図書館との連携
 - オ 石神井公園商店街との連携
 - カ 都立石神井公園との連携

3 資料収集・保管、調査・研究

- (1) 資料の収集業務（一次的候補の抽出）、整理・保管
- (2) 収蔵・展示の環境整備
- (3) レファレンス対応
- (4) 調査・研究（研究紀要の発行・隔年）

- (5) 資料特別利用対応

4 広報業務

- (1) 年報の発行
- (2) ふるさと文化館ニュースの発行
- (3) ホームページ整備
- (4) SNS の活用
- (5) ふるさと文化館スタンプラリーの実施

5 施設貸出事業

- (1) 多目的会議室
- (2) 会議室 1・2
- (3) 企画展示室
- (4) ギャラリー
- (5) 展示用ボックス

6 ふるさと文化館および分室の施設管理

- (1) ふるさと文化館

[所在地および規模等]

所在地 練馬区石神井町五丁目12番16号

敷 地 3,562.71㎡

(石神井プール、池淵史跡公園を含めた面積14,860㎡)

建 物 鉄骨造 地上2階 3,474.62㎡

(池淵史跡公園内旧内田家住宅分 木造平屋 199.91㎡)

施設内容 常設展示室、企画展示室、情報コーナー、交流ライブラリー、多目的会議室、会議室、収蔵庫3室、池淵史跡公園内旧内田家住宅、駐車場3台(内身体障害者用1台)、バス寄せ・駐輪場 約300台

- (2) ふるさと文化館分室

[所在地および規模等]

所在地 練馬区石神井台一丁目33番44号

建 物 練馬区立石神井松の風文化公園管理棟の一部 531.53㎡

※分室は、練馬区立石神井松の風文化公園管理棟(延床面積 2,377.91㎡地上2階建)内の展示準備室、展示室4室、収蔵庫等

収益事業等

1 物品等販売事業

- (1) 自動販売機による飲料等の販売